

## 第 3 2 回 青梅市公共交通協議会

### 基本計画推進状況について

- 1) 広報おうめにおける公共交通利用促進記事
- 2) 観光におけるMMIについて
- 3) 学校教育におけるMMIについて
- 4) 事業所におけるMMIについて
- 5) 公共交通ガイドの更新について
- 6) 河辺下地区の取り組みについて
- 7) 青梅市公共交通基本計画の見直しについて（案）

令和元年12月11日



# 1. 広報おうめにおける公共交通利用促進記事

- 昨年度に引き続き、広報おうめに公共交通に関する以下の啓発記事を掲載し、公共交通利用の啓発を行った。

### 現状はピンチ

現在、市内では鉄道やバスが運行されており、公共交通に恵まれた地域であると言えます。

しかしながら近年、公共交通の利用者数は減少を続け、交通事業者の努力や行政の補助金だけでは路線の維持が難しくなっています。

### 減少の悪循環

利用者が減ると、交通事業者の運賃収入が減少し、運行経費を賄うことができなくなります。そうすると、運行経費を抑えるため、便数や路線数を縮小せざるを得なくなります。

その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少する悪循環になります。

### 乗って守ろう！使って育てよう！公共交通

する悪循環になります。今は車を利用していても、5年後、10年後の近い将来、車以外の移動手段が必要となった時、困るかもしれません。

利用者減少による悪循環

### 利用して健康に

例えば、買物へ行くのに1時間移動するとし、車で行けば家から店までほとんど座ったまま移動することになります。

一方、鉄道・バスを使えば駅やバス停まで歩いたり、鉄道・バスの中で立つ

### 使うほどエコ

鉄道やバスは車に比べて二酸化炭素排出量が半分以下となり、地球環境にとって

### 未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れてみるのが公共交通を未来につなげる第一歩になります。

市内の公共交通の情報は市のホームページに掲載しています。

#### 通勤手段と肥満の人の割合

通勤手段	割合
鉄道やバスで通勤する方	19%
車で通勤する方	28%

(出典: モビリティ・マネジメント教育のすすめ)

#### 移動手段と消費カロリー

移動手段	消費カロリー
公共交通	220kcal
車	102kcal

1時間の移動で約2倍！

(出典: 第6次改定日本人の栄養所要量)

#### 問い合わせ

青梅市 公共交通  
で検索

都市整備部 管理課

#### もやさしい交通手段です。

### 未来につなげる

#### 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量

交通手段	排出量 (g-CO2/人Km)
鉄道	19
バス	56
車	137

出典: 国土交通省 (2017年度)

「広報おうめ」令和元年11月15日号(39,750部印刷発行)

配布方法:新聞折込 29,050部、個別配達 5,200部、残部は公共施設、駅やスーパー等で配布

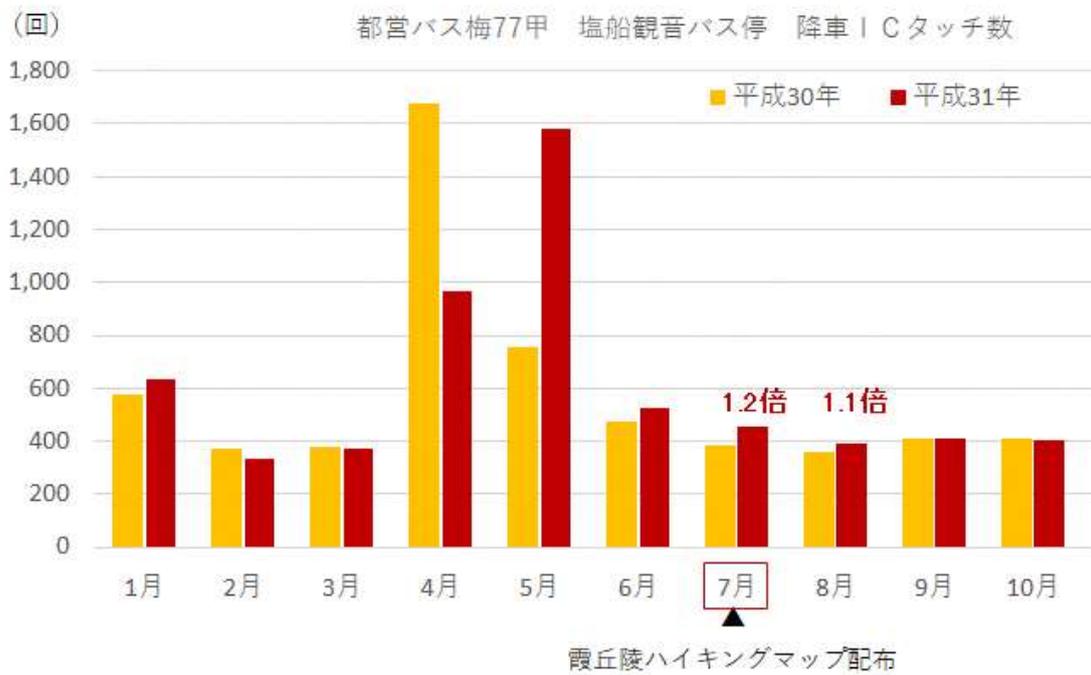
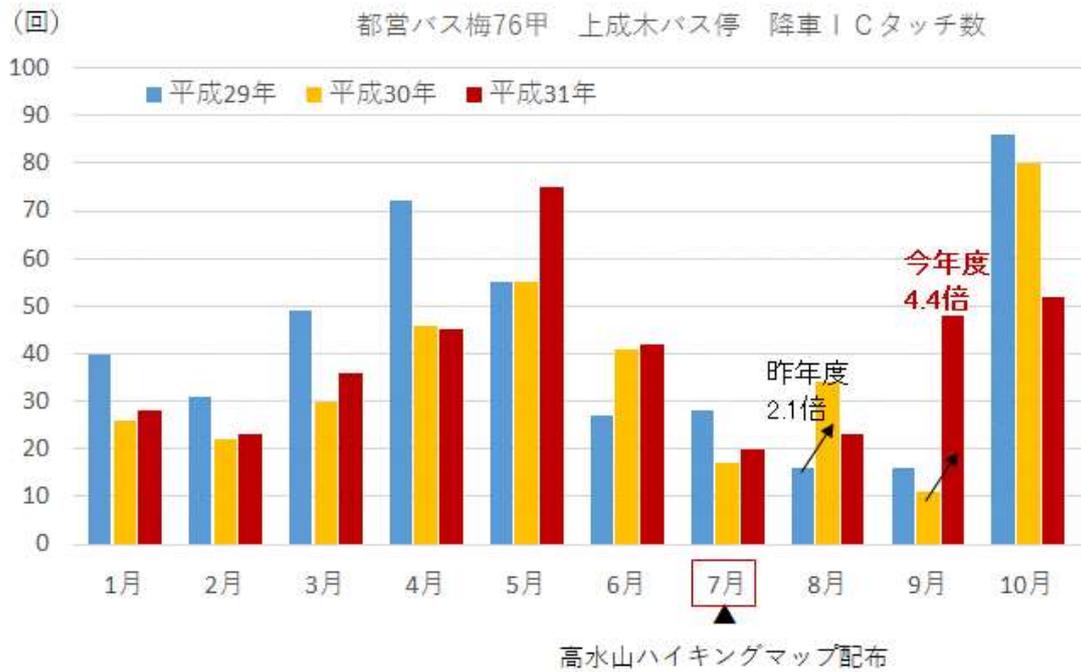
## 2. 観光におけるMMについて

- 公共交通を利用して行く高水山と霞丘陵の2種類のハイキングマップを作成し、以下のとおり配布した。
- 7月から配布を行ったところ、9月には、上成木バス停の降車ICタッチ数が、前年同月比で4倍以上の伸びとなった。
- また、塩船観音バス停についても、若干の増加がみられた。
- 10月の上成木バス停は、9月に比べて雨天の土日祝日が多かったため減少したと考えられる。

### ハイキングマップ配布実績

配布日	配布場所	高水山 コース 配布枚数	霞丘陵 コース 配布枚数
7月16～17日	杉並区役所(青梅市物産展)	300枚	300枚
7月30日	JR青梅駅	100枚	100枚
7月30日	青梅観光案内所	100枚	100枚
8月6日	東京観光情報センター(都内4ヶ所※)	400枚	400枚
8月7日	東京観光情報センター多摩(エキュート立川3階)	100枚	100枚
8月25日	今井小学校(青梅市総合防災訓練パネル展示)	100枚	100枚
10月21～25日	杉並区役所(青梅市観光写真展)	100枚	100枚
11月2～3日	桜井原っぱ公園(すぎなみフェスタ2019)	300枚	300枚
	合計	1,500枚	1,500枚

※東京都庁第一本庁舎1階／バスタ新宿3階／羽田空港国際線旅客ターミナル2階／京成上野駅改札口前



### 3. 学校教育におけるMMについて

- 青梅市立成木小学校の児童(1・2年生、3・4年生)を対象に、交通環境学習を実施した。
- 1・2年生の感想としては、「みんなと遊んだこと」「バスに乗ったこと」が多くなっており、3・4年生に今後バスや鉄道を利用したいかどうか尋ねたところ、すべての児童が利用したい意向を示し、特に「マナーを守って乗りたい」と答えた児童もいた。

#### (1) 実施内容

##### ①対象

- 青梅市立成木小学校の1・2年生、3・4年生

##### ②実施日時

- 令和元年11月19日(火)
- 1時間目(1・2年生)、1時間目・2時間目(3・4年生)

##### ③実施場所

- 座学は、教室で実施
- 乗車体験は、成木小学校の隣接駐車場

##### ④1・2年生向けの授業内容

- 小学生(低学年)を対象に、路線バスを用いた乗車体験を通して、乗降の仕方やマナー、公共交通としての路線バスの大切さ等について学習してもらう。
- 学習を通して、路線バスに興味や親しみを持ってもらい、路線バスに乗車する機会の増加や、将来も移動手段の一つとして自然に選択できるような意識の醸成をはかり、路線バスの持続的な利用促進につなげる。

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間含む	座学	コンサルタント	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公共交通の概要</li> <li>・身近なバス路線の行先</li> <li>・時刻表の調べ方</li> <li>・バスの乗り方・降り方</li> <li>・整理券と運賃表の見方</li> </ul>
30分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス車両の見学(座学内容の体験:乗車方法やマナー)</li> <li>・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習</li> <li>・車いす利用者の介助の仕方</li> <li>・運転席体験(死角やバックミラー)</li> <li>・内輪差、オーバーハング等の実演</li> </ul>

### ⑤3・4年生向けの授業内容

- 日常(休日など)の移動手段として、公共交通が利用手段のひとつとして認識してもらえるように、普段はクルマで移動している場所へ、公共交通を利用してもいけることを理解してもらう

#### (1 コマ目)

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間含む	座学	クラス担任	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する <ul style="list-style-type: none"> <li>・成木小学校の位置、青梅市内の主要施設の位置、東京都から見た青梅市</li> <li>・クルマ利用・公共交通利用のメリット・デメリット</li> <li>・公共交通利用の重要性</li> </ul>
30分	グループワーク	クラス担任	グループ毎に目的地を設定し、目的地までの行き方を考える グループワークは、少人数の方が全員参加できるので、6グループとする。

#### (2 コマ目)

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間含む	座学	クラス担任	1コマ目で考えた、目的地までの行き方について、グループ別に発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループ5分程度(4グループ)</li> <li>・参加者全員で、理解を深める</li> </ul>
30分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス車両の見学(座学内容の体験:乗車方法やマナー)</li> <li>・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習</li> <li>・車いす利用者の介助の仕方</li> <li>・運転席体験(死角やバックミラー)</li> <li>・内輪差、オーバーハング等の危険</li> </ul>
帰りの時間	宿題説明	クラス担任	今日学習したことの振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちの方と、今日の学習についてお話をしてほしい</li> <li>・おうちの方とグループワークで考えた行き方で目的地に行くことの周知(可能な限り)</li> </ul>

(2) 実施結果



座学時の状況(3・4年生)



座学時の状況(3・4年生)



座学時の状況(1・2年生)



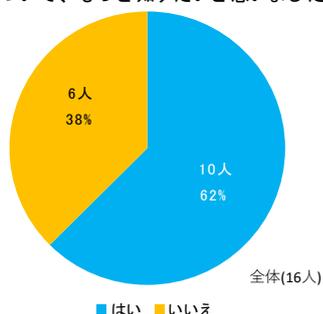
乗車体験時の状況(運転席の体験)

### (3) アンケート調査結果

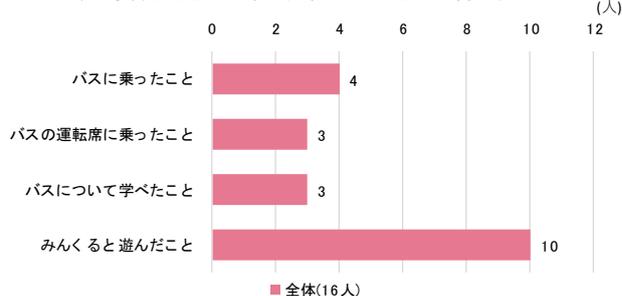
#### ■ 1・2年生

- ・楽しかったことについては、「みんなくると遊んだこと」が最も多く、次いで「バスに乗ったこと」が多くなっている。
- ・おうちの人と話した内容については、「みんなくると遊んだこと」と「バスの安全について」が最も多い。
- ・バスについてもっと知りたいと答えた児童は16人中10人となった。

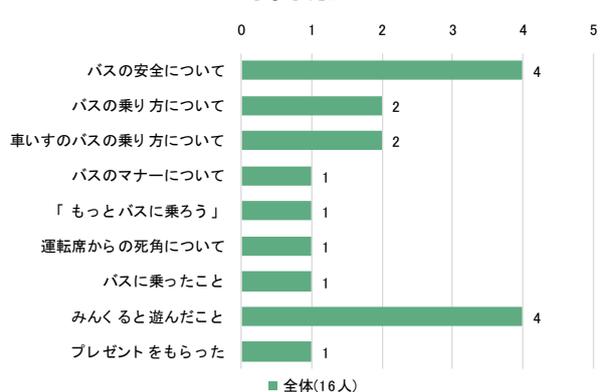
バスについて、もっと知りたいと思いましたか？



今日学習したことの中で、楽しかったことは何ですか？



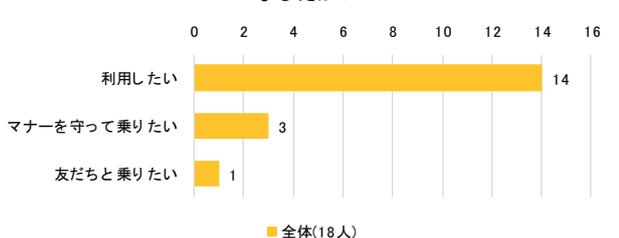
今日学習したことについて、おうちの人とどんなお話をしましたか？



#### ■ 3・4年生

- ・公共交通がなくなった場合に起こることについては、「学校や買い物に行けなくなる」が最も多く、次いで「交通弱者が不便になる」、「遠いところへ行くのが不便になる」と続く。
- ・楽しかったことについては、「バスの危険性について学べた」が最も多く、次いで「バスについて学べた」「バスのマナーについて学んだ」が多くなっている。
- ・今後バスや鉄道を利用したいかどうか尋ねたところ、すべての児童が利用したい意向を示し、特に「マナーを守って乗りたい」と答えた児童もいた。

みなさんは、今後、バスや鉄道を利用してみたいと思いませんか？



公共交通であるバスや鉄道がなくなると、どんな問題がおこってしまいますか？



今日学習したことの中で、楽しかったことは何ですか？



#### 4. 事業所におけるMMについて

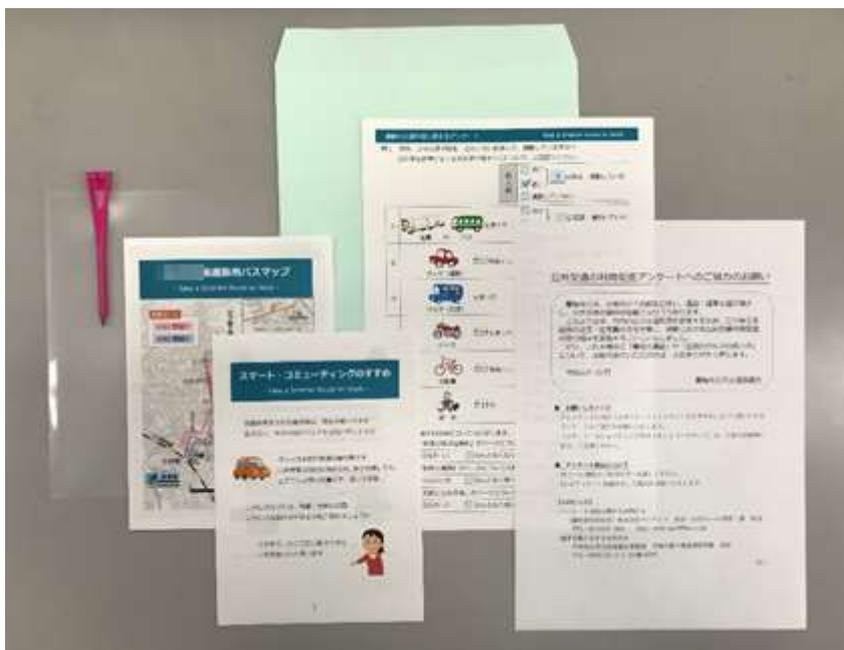
- 青梅市三ツ原工業団地において、平成 30 年度に実施したMM取り組み意向に関するアンケートで回答を得た 2 社を対象にMMを実施した。
- 従業員に向けて、動機付け冊子や事業所周辺の公共交通に関する情報提供を行い、公共交通の利用促進を図った。
- あわせて、通勤時の交通手段や公共交通に対する問題意識について事前アンケートを行った。

##### (1) 実施内容

###### ① 配布物

- お願い状
- アンケート
- 動機付け冊子「スマートコミュニティのすすめ」
- バスマップ(事業所ごとに作成)
- クリップペンシル

※動機付け冊子とバスマップは交通情報セットとしてクリアファイルに収納



配布物

###### ② 事前アンケートの実施

- 配布方法: 事業所ごとに一括で郵送配布・郵送回収
- 調査時期: 令和元年 10 月末～11 月初旬
- 調査対象: 対象事業者の全従業員

## ■手順書(各社担当者向け)

〇〇株式会社 〇〇 様

### 公共交通利用促進アンケートの配布・回収についてのご案内

公共交通利用促進アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

アンケートの配布・回収については、お手数をおかけして大変恐縮ではございますが、以下の手順での実施をお願い申し上げます。

なお、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

#### (1) 従業員の方への配布物件について

- ・同封の淡いグリーン封筒に入った1セットが、1名様分の配布物件です。
- ・中身は①お願い状、②アンケート、③スマートコミュニティのすすめ、④パスマップ、⑤クリップペンシルです。(③④はクリアファイルに入っています。)

#### (2) アンケートの回収・発送

- ・回収されたアンケートは、同封の回収用封筒(切手付き、ライテックの社名入りのもの)に入れて、ご送付ください。

#### (3) アンケートのスケジュール

10月										11月						
23	24	25	26	27	28	29	30	31		1	2	3	4			
水	木	金	土	日	月	火	水	木		金	土	日	月			
配布物件の到着	配布 →					記入・回収 →				回収アンケート発送				※ライテック到着		

※年度内に、事後アンケートを予定しております。その際は、再度ご案内させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 【お問合せ先】

- ・アンケート内容に関するお問合せ  
(調査委託事業者) 株式会社ライテック 社会・公共ソリューション部第一課 袴田  
TEL : 03-5227-1864 Mail : reply\_que@litec.co.jp
- ・調査実施に関するお問合せ  
青梅市公共交通協議会事務局 青梅市都市整備部管理課 河村  
TEL : 0428-22-1111 (内線 2579)

以上

## ■お願い状

### 公共交通の利用促進アンケートへのご協力をお願い

青梅市では、近年の少子高齢化に伴い、通勤・通学交通が減少し、公共交通の維持が困難になりつつあります。

このような中、市内の公共交通利用を促進するため、三ツ原工業団地の企業・従業員の方を対象に、通勤における公共交通利用促進の取り組みを実施することにいたしました。

ぜひ、これを機会に「普段の通勤」や「普段のクルマの使い方」について、お振り返りいただければ、大変ありがたく存じます。

令和元年 10 月

青梅市公共交通協議会

#### ■ お願いしたいこと

- ・クリアファイル内の「スマート・通勤のすすめ」をご一読いただき、アンケートのご記入をお願いいたします。
- ・「スマート・通勤のすすめ」と「バスマップ」は、今後の通勤時にぜひ、ご活用ください。

#### ■ アンケート提出について

- ・10 月中に御社のご担当の方へお渡しく下さい。
- ・A3 のアンケート用紙のみ、ご提出をお願いいたします。

#### 【お問合せ先】

- ・アンケート内容に関するお問合せ  
（調査委託事業者）株式会社ライテック 社会・公共ソリューション部第一課 袴田  
TEL：03-5227-1864 Mail：reply\_que@litec.co.jp
- ・調査実施に関するお問合せ  
青梅市公共交通協議会事務局 青梅市都市整備部管理課 河村  
TEL：0428-22-1111（内線 2579）

以上

■アンケート(A3)

通勤の交通手段に関するアンケート

- Take a Smarter Route to Work -

問1 現在、どの交通手段を、どれくらい利用して、通勤していますか？  
記入例を参考に①～⑥の交通手段すべてについて、ご回答ください。

	記入例	頻度	通勤している
①	 電車 や バス	<input type="checkbox"/> 月に <input checked="" type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 3_日程度 通勤している
②	 だけを使って、 クルマ (運転)	<input type="checkbox"/> 月に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 日程度 通勤している
③	 を使って、 クルマ (同乗)	<input type="checkbox"/> 月に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 日程度 通勤している
④	 だけを使って、 バイク	<input type="checkbox"/> 月に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 日程度 通勤している
⑤	 だけを使って、 自転車	<input type="checkbox"/> 月に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 日程度 通勤している
⑥	 だけで、 徒歩	<input type="checkbox"/> 月に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 日に	<input type="checkbox"/> 通勤していない <input type="checkbox"/> 日程度 通勤している

問2 同封の冊子の内容についてうかがいます。

- ① 『クルマ利用と地球温暖化』のページについて内容をご存知でしたか？  
 知らなかった  なんとなく知っていた  よく知っている
- ② 『クルマ利用と健康』のページについて内容をご存知でしたか？  
 知らなかった  なんとなく知っていた  よく知っている
- ③ 『クルマ利用と公共交通』のページについて内容をご存知でしたか？  
 知らなかった  なんとなく知っていた  よく知っている

問3 地球温暖化やご自身の健康、公共交通の現状などを考えると、できるだけ公共交通や徒歩・自転車を利用した方がいいと思いますか？

- まったく思わない  少し思う  思う  とても思う
- 問4 勤務地近くのバス路線（三ツ原循環）について、改善が望まれることは何ですか？
- 時刻表通りの運行  電車とバスの接続のタイミング  
 始発時刻の繰り上げ  バス停環境（ベンチ、上屋、禁煙の徹底など）  
 終発時刻の延長  その他（）  
 運行本数の増加  特になし

問5 通勤に「クルマ」を少しでも利用されている方におうかがいます。

- ① 「クルマ」の代わりに、「徒歩」や「自転車」で通勤することは可能ですか？  
 絶対に無理  無理ではないが、難しい  できる
- ② 「クルマ」の代わりに、「電車」や「バス」で通勤することは可能ですか？  
 絶対に無理  無理ではないが、難しい  できる
- ③ 「電車・バス」通勤または「徒歩・自転車」通勤を、少しでも実践してみようと思えますか？  
 まったく思わない  少し思う  思う  とても思う

恐れ入りますが理由を教えてください

- 自宅近くに電車やバスが通っていないから  
 電車やバスだと遠回り、または本数が少ないなど不便だから  
 自宅から勤務先まで「徒歩・自転車」では遠いから  
 クルマの方が楽だから  
 家族を送迎しているから  
 その他（具体的に ）

「電車・バス」や「徒歩・自転車」で通勤するとしたらどのようにしてみようと思えますか？

- 「徒歩・自転車」で通えそうなので、天気の良い日に試してみる  
 「電車・バス」で通えそうなので、今度一回試してみる  
 お酒を飲む日だけ、「電車・バス」を試してみる  
 その他（具体的に ）

上でお答えいただいた通勤は、実際にできそうですか？

- 無理  多分、できる  できる

ご協力いただき、ありがとうございました。  
 ぜひ、これを機会に、できる範囲で、公共交通通勤や徒歩・自転車通勤にお取り組みいただければ幸いです。

## ■ 動機付け冊子

### スマート・通勤のすすめ

- Take a Smarter Route to Work -

お勤め先までの交通手段は、何をお使いですか  
おそらく、大半の方がクルマではないでしょうか



クルマは便利で快適な乗り物です  
出発時間は自由に決められ、多少渋滞しても、  
エアコンがきいた車内で、座って通勤...

しかしクルマには、快適・便利な反面、  
いろいろな副作用があるのをご存知でしょうか

この中で、いくつかご紹介させて  
いただきたいと思います



1



### クルマ利用と『地球温暖化』

地球温暖化の原因のひとつが CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>は、エネルギーを使えば発生しますが、  
電車やバスは、クルマの半分以下の排出量です

公共交通は、地球環境にやさしいのです



輸送量当たりの二酸化炭素の排出量

出典：国土交通省（2016年度）

2



### クルマ利用と『健康』

例えば、通勤で一日1時間移動するとします

クルマなら、勤め先までほとんど座ったままですが、  
電車やバスは、駅やバス停まで歩いたり、  
車内で立ったり、消費カロリーが2倍以上になります

公共交通は、健康によい交通手段なのです



移動手段と消費カロリー

出典：第6次改定日本人の栄養所要量

3



### クルマ利用と『事故』

交通手段別の交通事故死者数は、電車やバスはクルマの  
1/10 以下、公共交通は安全性の高い乗り物です



移動手段別年間交通事故死者数

出典：(車・鉄道) 平成30年交通安全白書  
(バス) 自動車運送事業用自動車事故統計年報(平成26年)



### クルマ利用と『公共交通』

近年、公共交通の利用者数が減少し、  
バス路線の経営が厳しくなっています



でも、バス路線がなくなると、クルマを運転できない人や  
免許返納した高齢者の方が大変困ります

バス路線を将来にわたって残していくためにも、  
ぜひみなさんに利用していただくことが大切なのです

4

■バスマップ



小作駅発 → 立川・東京方面 (青柳線)	
平日	土日祝
5 08 26 47 59	4 42
6 04 11 18 31 36 43 51 59	5 08 49
7 03 08 13 16 24 31 34 37 46 51 59	6 04 18 24 32 38 46 54
8 07 15 21 24 45 56	7 09 20 32 45 55
9 06 18 31 45 53	8 07 17 29 36 44 58
10 02 15 28 39 49	9 08 20 28 39 51
11 03 12 24 38 46	10 07 19 30 40 51
12 03 16 24 37 49	11 03 13 24 34 46 57
13 04 14 23 37 49	12 12 19 33 45 57
14 02 15 25 38 49	13 10 19 33 44 56
15 02 15 24 37 49	14 11 23 33 43 48 57
16 03 15 27 39 51	15 10 17 29 45 55
17 04 21 29 38 48 59	16 13 18 27 37 50
18 10 21 27 33 43 54	17 06 18 27 40 50
19 05 15 26 37 47 58	18 02 16 27 38 46 54
20 02 13 17 27 35 43 48 54	19 04 16 27 33 42
21 05 17 32 47 58	20 00 13 24 41 57
22 09 24 38 51	21 12 23 33 44 56
23 07 14 25 37 48	22 06 19 31 42 56
0 06	23 08 27 37 53
	0 07

小作駅発 → 青柳・奥多摩方面 (青柳線)	
平日	土日祝
5 09 26 36 48 53 59 59	5 09 28 40 56
6 12 20 32 37 43 48 57	6 15 26 44 56
7 00 08 12 18 25 30 43 55	7 00 11 20 32 46 55
8 04 08 13 24 35 45 56	8 04 14 19 28 48 52 59
9 08 20 27 37 51	9 18 30 47 59
10 06 18 29 41 52	10 07 20 31 41 53
11 04 15 29 42 51	11 04 14 26 37 47 57
12 01 15 29 42 53	12 11 21 33 47 59
13 05 15 29 41 52	13 12 21 34 47 55
14 00 15 29 42 52	14 07 20 35 48 55
15 00 15 28 42 53	15 07 18 30 45 55
16 06 18 30 44	16 07 17 28 42 56
17 00 11 18 27 38 49 59	17 05 15 24 42 56
18 05 11 20 33 44 54	18 07 17 28 35 44 54
19 04 14 26 37 41 49 55	19 06 18 22 33 39 52
20 06 11 18 27 32 44 55	20 03 06 18 25 37 51
21 01 11 23 36 46 53	21 01 13 23 35 46 56
22 03 17 31 47	22 11 21 32 46
23 04 15 21 32 44 58 58	23 02 17 28 33 47 58
0 21 44	0 13 41
1 06	1 06

小作駅東口発 (西東京バス)				
平日		土日祝		
5	小02 東廻り 30	小03 西廻り	小02	小03
6	11 51	00 30	4 48	00 29
7	15 35 47	05 25 35 50	7 15 50	06 37
8	00 21 40	00 09 17 24 30 38 50	8 23 52	10 34
9	15 45	00 33	9 22 50	03 34
10	17 50	02 38	10 23 50	05 35
11	24 58	12 48	11 24 51	08 41
12	34 58	10 46	12 22 51	06 37
13	20 46	14 34	13 24 55	03 36
14	18 56	08 44	14 27 52	10 39
15	32	20 52	15 23 51	06 34
16	10 48	32	16 22 46	01 33 59
17	02 12 26 44	00 21 35 47	17 14 45	28
18	00 14 28 46	05 20 42	18 20 50	02 38
19	05 35	08 30 45	19 23 55	10 42
20	00 25	10 36	20 28 58	08 40
21	05 40	27 58	21 39	11
22	10 36		22 42	14
23	08		23	

三ツ原工業会館発 (西東京バス)				
平日		土日祝		
5	小02 東廻り	小03 西廻り	小02	小03
6	24	08 39	5	08 37
7	07 31 51	14 34 44 59	7 02 29	14 45
8	03 16 37 54	09 18 26 33 39 47 59	8 04 37	19 43
9	29 59	09 42	9 06 36	12 43
10	31	11 47	10 04 37	14 44
11	04 38	21 57	11 04 38	15 50
12	12 48	19 55	12 05 36	15 46
13	12 34	23 43	13 05 38	12 45
14	00 32	17 53	14 09 41	19 48
15	10 46	29	15 06 37	15 43
16	24	01 41	16 05 36	10 42
17	03 20 30 44	09 32 44 56	17 00 29	08 37
18	02 15 29 43	14 29 51	18 00 35	11 47
19	01 19 49	17 39 54	19 04 37	19 51
20	14 39	19 45	20 09 41	16 48
21	17 52	36	21 11 52	19
22	22 46	07	22 55	22
23	20		23	

令和元年 10 月現在

小作駅 (東口) バスのりば



ピーク時所要時間

行き	小作駅→三ツ原工業会館	小03	9分
		小02	16分
帰り	三ツ原工業会館→小作駅	小02	15分
		小03	23分

運賃 (小作駅～三ツ原工業会館)

現金：200円  
IC：199円



## (2) アンケート調査結果

### ■ アンケート回収数

- 三ツ原工業団地の2社を対象としたアンケートの回収状況は、計36名の方から回答いただいた。

表1 事前アンケートの回収状況

社名	配布数	回収数	回収率
A社	30	20	66.7%
B社	16	16	100.0%
合計	46	36	78.3%

### ■ 問1 通勤時の交通手段について

- 通勤時の交通手段別は、「車(運転)」(27票)が最も多く、次いで「電車・バス」(5票)、「自転車」(4票)となっている。
- 利用頻度をみると、「車(運転)」の「週5日以上」が66.7%となっており、約7割の人が日常、自分で車を運転して通勤している。

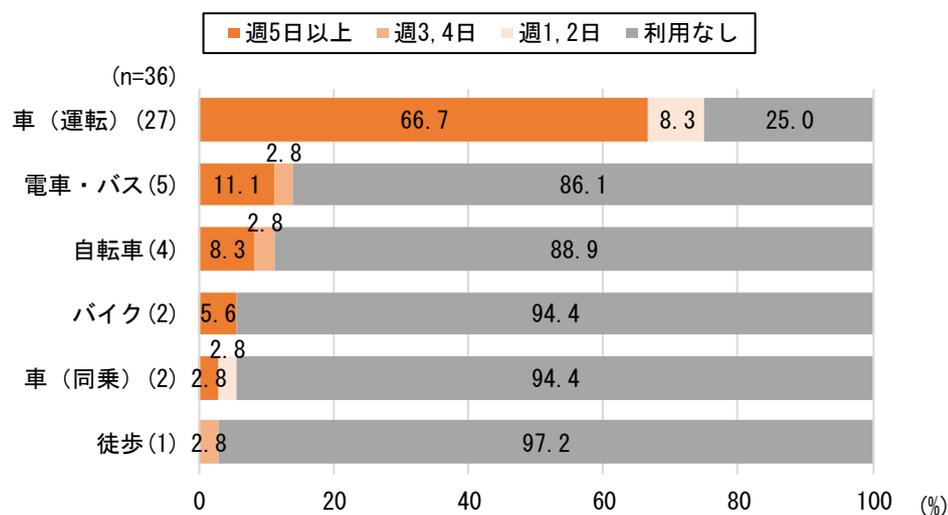


図1 通勤時の交通手段と利用頻度

## ■問2 同封した動機付け冊子の内容について知っているか

- 動機付け冊子の各内容（「クルマ利用と地球温暖化」、「クルマ利用と健康」、「クルマ利用と公共交通」）について、「よく知っている」とした人は、それぞれ 16.7%、19.4%、13.9%となっている。
- 「よく知っている」、「なんとなく知っていた」を合わせると、知っていた人は半数以上となっている。
- 一方で、知らなかった人は約 3～5 割（地球温暖化 33.3%、健康 41.7%、公共交通 47.2%）となっている。

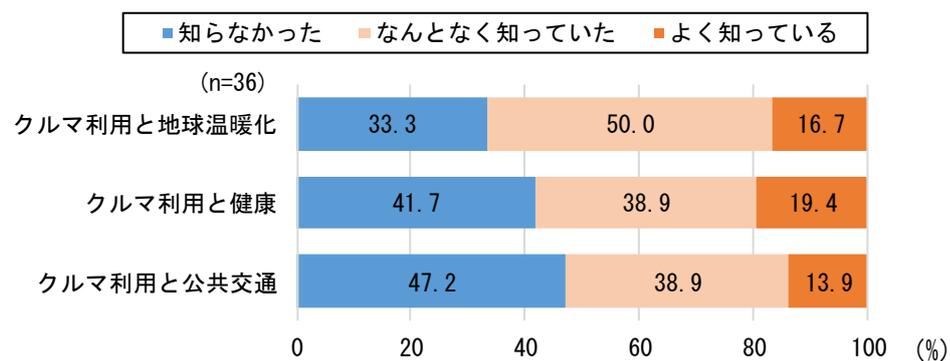


図2 動機付け冊子の内容について

## ■問3 公共交通や徒歩・自転車を利用した方がよいと思うか

- 地球温暖化や健康、公共交通の現状などを考えると、できるだけ公共交通や徒歩、自転車を利用した方がよいと思うかについては、「少し思う」、「思う」、「とても思う」を合わせると、9割以上の人が公共交通や徒歩、自転車を利用した方がよいと感じている。

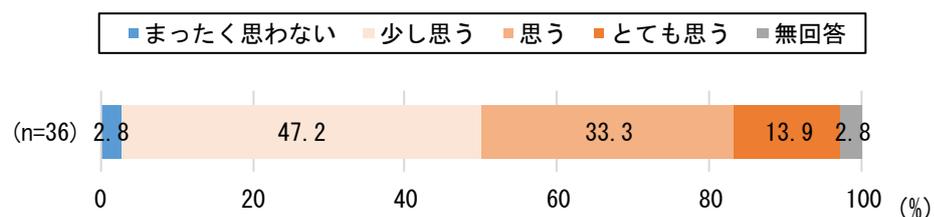


図3 公共交通や徒歩・自転車の利用について

#### ■問4 バス路線(三ツ原循環)について改善が望まれること

- 改善希望について「特にない」(16票)が最も多かった。
- 上記以外に多かった改善希望は、「電車とバスの接続のタイミング」(11票)、「運行本数の増加」(9票)となっている。
- 「その他」の意見としては以下があげられた。  
「運賃を安く」、「バス停に照明をつけてほしい」、「バス停は近いが、横断歩道が遠い」、「自宅から通勤できるなら使いたい」

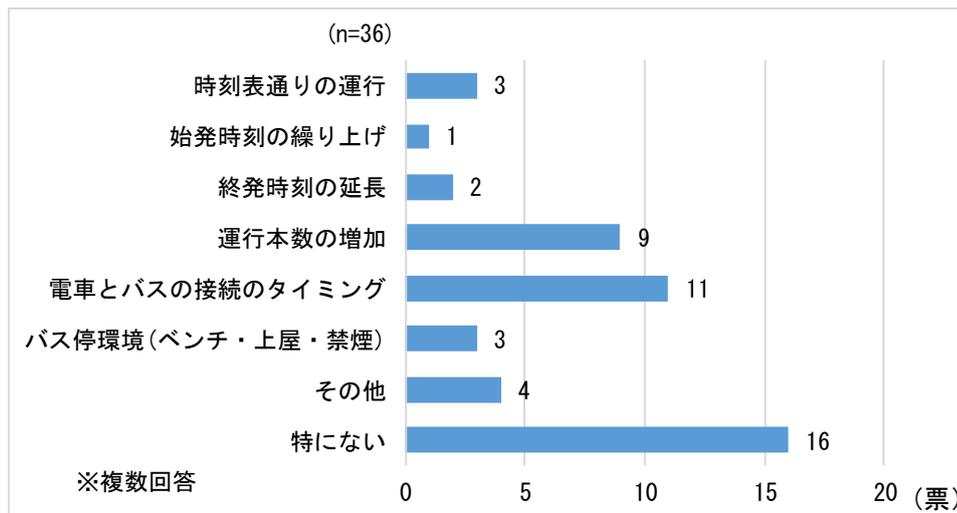


図4 バス路線(三ツ原循環)について

#### ■問5 公共交通や徒歩・自転車による通勤は可能か(車・バイク通勤している方のみ回答)

- 車の代わりに徒歩や自転車、電車やバスで通勤することについて、「絶対に無理」、「無理ではないが、難しい」とした人は、合わせて7割前後となっている。
- 一方で、「できる」とした人は、徒歩や自転車の通勤が25.8%、電車やバスでの通勤が19.4%となっている。

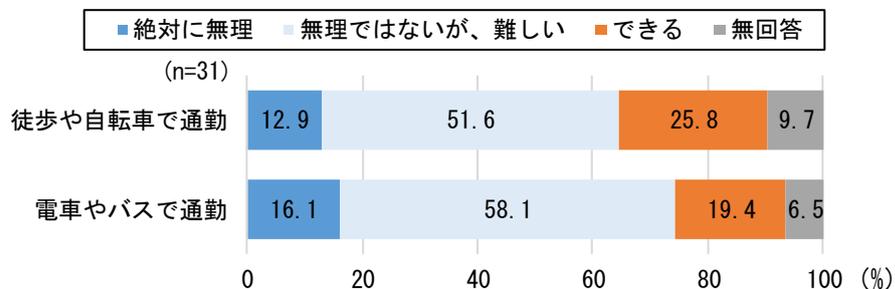


図5 公共交通や徒歩・自転車での通勤について

### ■ 実践してみようと思うか(車・バイク通勤している方のみ回答)

- 車の代わりに徒歩や自転車または電車やバスでの通勤を実践することについて、「まったく思わない」とした人は、41.9%となっている。
- 一方で、「少し思う」、「思う」とした人は、合わせて約5割となっている。

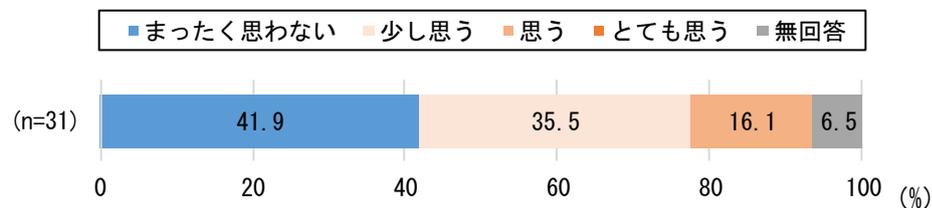


図6 徒歩や自転車または電車やバス通勤の実践について

### ■ 「まったく思わない」人の理由(車・バイク通勤している方のみ回答)

- 車の代わりに徒歩や自転車または電車やバスでの通勤を実践することについて、「まったく思わない」とした理由は、「電車やバスだと遠回り、または本数が少ないなど不便だから」(8票)が最も多く、次いで「自宅から勤務先まで徒歩・自転車では遠いから」(6票)、「クルマの方が楽だから」(5票)となっている。
- 「その他」の意見としては以下があげられた。  
「JR 金子駅から青梅行のバスがない」、「体力的に無理だと思う」

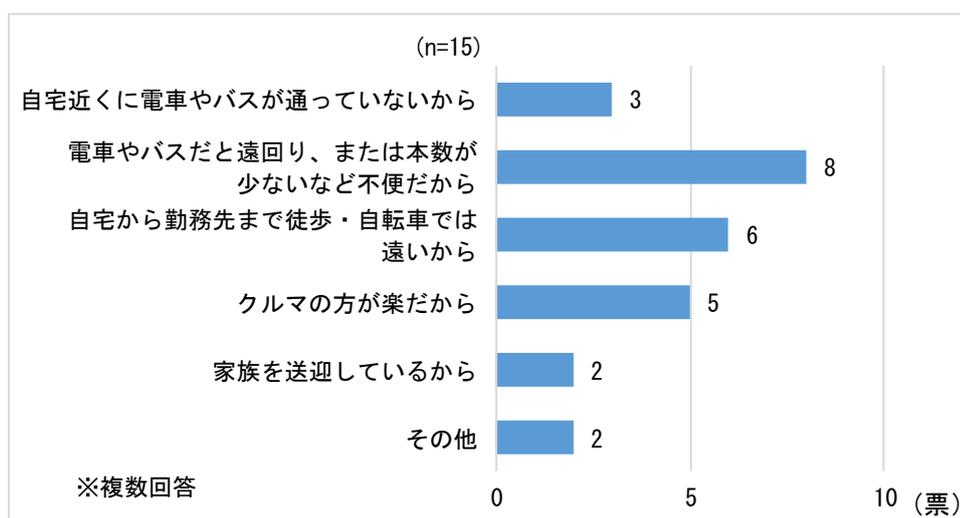


図7 徒歩や自転車または電車やバスでの通勤を実践しない理由

■ 「少し思う」「思う」「とても思う」人はどのようにしてみたいか(車・バイク通勤している方のみ回答)

- 車の代わりに徒歩や自転車または電車やバスで通勤するとしたら、どのように実践するかについては、「徒歩・自転車で通えそうなので天気の良い日に試してみる」(11票)が最も多くなっている。
- 「その他」の意見としては以下があげられた。  
「その気がない」

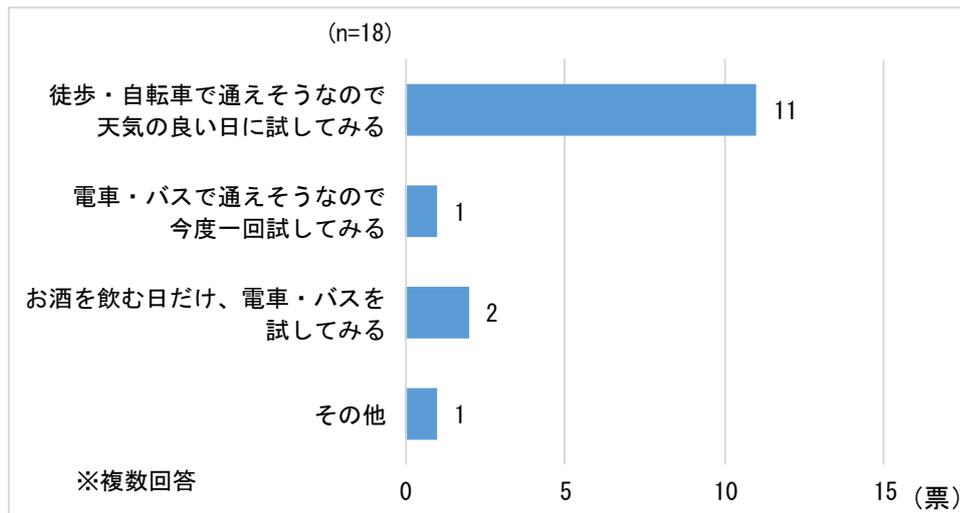


図8 徒歩や自転車または電車やバス通勤の実践の仕方

■ 上記の回答が実際にできそうか(車・バイク通勤している方のみ回答)

- 実際に徒歩や自転車または電車やバス通勤を実践できるかについては、「多分、できる」、「できる」が、合わせて6割以上となっている。

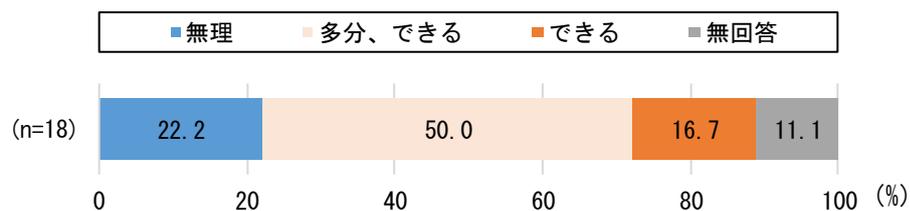


図9 実際に徒歩や自転車または電車やバス通勤を実践できるか

## 5. 公共交通ガイドの更新について

昨年度作成した公共交通ガイドについては、土日の時刻掲載や文字サイズ改善等により、これまでたびたび寄せられていた体裁に関する苦情がなくなった。

今年度の公共交通ガイドについては、以下の箇所の修正を行う。

- 6 ページ時刻表「東青梅駅(南口)」のカッコ削除
- 6 ページ時刻表「東青梅駅(南口)」の「梅74甲乙・梅76甲 裏宿行」に「梅77丁 青梅駅行」のダイヤが重複して記載されているため削除

時刻表 東青梅駅前(南口)				梅77丙 青梅駅行				梅77丁 青梅駅行				梅77丁 河辺駅行			
時	平日	土曜	休日	時	平日	土曜	休日	時	平日	土曜	休日	時	平日	土曜	休日
6	21	31	50	6				6				6			
7	16	35		7				7				7			
8	03	20	20 51	8				8	20			8	03		
9				9				9				9	56	50	51
10	13			10	01			10	13	07	06	10			
11	17			11				11				11			
12	03	13	54	12		31	41	12		29	14	12		12	00
13				13	16			13				13			
14	18	43		14		00	01	14		49	54	14		32	40
15	22			15				15	22			15	05		
16	19			16				16		49	49	16		32	34
17	03	58		17				17	58			17	41		
18	09	35													
19	41														
20	49	59													
21															
22	06														

オ：小曾木回り  
オ：青梅駅前行

- 11 ページICカードの利用案内に購入できる場所を明記

### ICカードの利用案内

▶ **ICカードとは？**  
鉄道やバスの運賃や買い物の支払いに使えるカードです。SuicaやPASMOなどがあります。



▶ **電車やバスに乗る**  
財布等に入れたままタッチするだけで、切符を買ったり現金を数える手間がありません。また、相互利用を行う全国の路線でも利用できます。

▶ **買物する**  
ICカード内のお金を電子マネーとして使えます。対応している駅の売店やコンビニ、スーパー、自販機などでの買物に利用できます。  
ICカードへのお金の追加（チャージ）は、駅やバス車内、コンビニ等でできます。

- 3 ページ路線図「急行 東青梅駅南口～河辺駅南口」の「～」を「→」に変更、あわせて路線図の点線に沿って「→」を記載
- 3 ページ路線図「小 02・03」の三ツ原工業会館と昭洋工業の間に進行方向を示す矢印を記載
- 3 ページ路線図「梅 70」の停留所「西多摩保健所」を「師岡町三丁目」に変更



## 6. 河辺下地区の取り組みについて

- 千ヶ瀬-河辺下ルートについては、バス事業者の発案で 2011 年から検討を進めてきたが、2017 年に、安全性や経済性に問題があり、検討をいったん白紙に戻した。
- 今回は、交通不便地域である河辺下地域において、改めて地域住民の方が何に困っていて、市にどのようなサポートを求めているのかを把握することを目的として、ワークショップを実施した。

### (1) 実施内容

#### ①参加者

- 河辺下にお住まいの方 16 名
- ファシリテータ 3名
- 市職員(オブザーバー)

#### ②実施日時

- 令和元年 11 月 27 日(水)19 時～21 時

#### ③実施場所

- 河辺町南自治会館

#### ④具体的内容

- 企画の趣旨説明(10 分)
- 河辺下地域において、交通に関する困りごと・問題点はなにか(40 分)
- 休憩(5分)
- 上記で挙げた困りごと・問題点への対応策(40 分)
- グループごとに議論した内容を発表(10 分)

## (2) 実施結果



ワークショップ時の状況



ワークショップ時の状況

## 【ワークショップの結果】

### ①交通に関する困りごと・問題点

#### 坂があって、どこに行くにも大変

- 坂下の地域であるため、どこに行くにも坂を上ることになるため、不便
- 自転車を使って移動しているが、行きは坂がきつく、押して上ることになる
- 自動車を運転できているうちはよいが、運転できなくなったときに、日常生活を送ることができるのかが心配

#### 日常生活に必要な機能がない

- 日常的に利用する病院やスーパーが河辺下地域には存在しないため、何をするにも坂を上っていく必要がある

#### 道幅が狭いにもかかわらず、通過交通が多い

- 信号機がないため、朝夕の通勤・帰宅時間帯には、住民以外の人が通過のために自動車で地区内に入ってくる

### ②解決策

#### 坂があって、どこに行くにも大変

- ミニバスや乗合タクシーなど、公共交通機関を導入してほしい
- 時間に制約はないので、グリーンスローモビリティのような低速の乗り物でもよいのではないか
- 免許返納者を対象とした、電動アシスト自転車の購入費補助があるとよい

#### 日常生活に必要な機能がない

- 移動スーパーによる販売があると便利だ
- ミニバスや乗合タクシーなど、公共交通機関を導入してほしい

#### 道幅が狭いにもかかわらず、通過交通が多い

- 通過交通を排除するための交通規制を導入してほしい
- 交通規制をかけることで、速度が落ちるのであれば、低速の電動車いすやグリーンスローモビリティのような手段でも移動することができるのではないか

## 【今後の方向性】

- 今回のワークショップの結果を踏まえ、今後の対応方針を事務局で検討し、次回の協議会（令和2年2月～3月ごろ）で提案する。

## 7. 青梅市公共交通基本計画の見直しについて（案）

- 「青梅市公共交通基本計画」について、策定(平成 25 年 3 月)から一定の期間が経過し、公共交通を取り巻く社会情勢も変化してきており、見直す必要が生じてきていることから、次年度以降見直しに着手する。
- 公共交通のマスタープランとして見直すにあたり、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成 19 年法律第 41 号)に基づく「地域公共交通網形成計画」として策定していく。
- 法定計画とすることで、今後の様々な事業の根拠づけや協議の円滑化に対する効果が考えられる。
- 見直しに当たっては、現行の青梅市公共交通基本計画について、評価指標に基づき、計画目標に向けた改善状況について評価を行う。

公共交通改善施策の評価指標

計画目標	評価内容	評価指標
【目標1】公共交通確保維持に対する市民の意識改革と利用促進	バスの利用促進は進んだか	バス利用率＝年間輸送人員／青梅市の人口×365
【目標2】自家用車を利用しなくても安心して暮らせる、バス路線を中心に多様な交通手段を利用できる利便性の高い総合交通体系の構築	公共交通のサービスレベルは向上したか	実車走行キロ、路線長
	公共交通利用が不便な人は減ったか	公共交通サービス圏の大きさ
	公共交通の利便性に対する市民の意識は向上したか	市政総合世論調査
【目標3】持続可能な公的支援制度の整備	バス路線の経営状況は改善されたか	全体の収支率
	公的支援は効果的に使われたか	一人当たり公的支援額＝公的支援額／年間輸送人員
【目標4】中心市街地のにぎわいを創出し、拠点性・一体性を高める公共交通の整備	中心市街地の活力・拠点性は高まったか	中心市街地3駅の一日平均の乗車人員数
		中心市街地の居住人口、事業所数・従業者数